

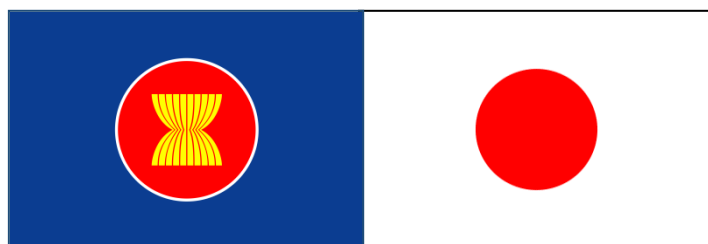
日・ASEAN 食産業人材育成官民共同プロジェクト

-日・ASEAN40 周年記念（農林水産省）

ASEAN 諸国の大学と連携した人材育成-

御提案書

ASEAN
Food Industries



Human Resources Development
ASSOCIATION



主催 一般社団法人 ASEAN 食産業人材育成協会

1. ごあいさつ =ASEAN 諸国での食産業¹人材育成=

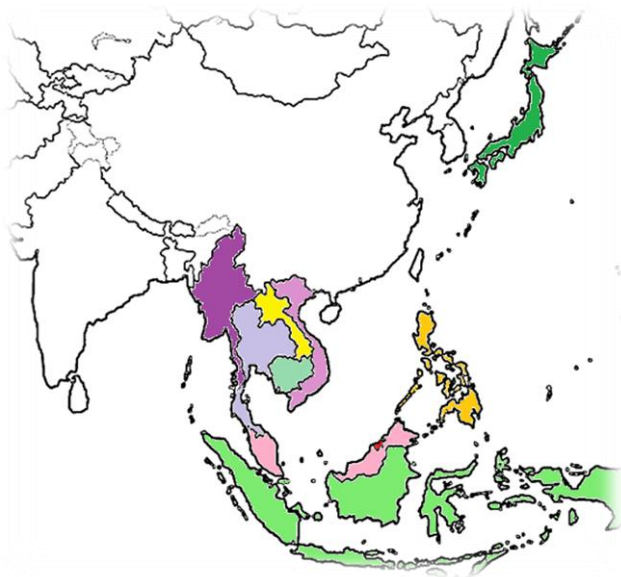
国内市場の縮小に伴い、生産販売拠点のグローバル化が進み、アジアへの動きが加速する日本企業。今までの、中国を中心としたアジア戦略にも限りが見え、様々な中国リスクを回避しようという流れの中、経済発展著しい ASEAN 諸国への日本企業の戦略的アプローチが顕著になっている。インドネシア、ベトナムと共にカンボジア、ミャンマー、ラオスなど経済発展の進む ASEAN 新興国での生産拠点確立を目指す動きが見え、ビジネスパートナーとして緊密な関係を築き始めている。

ASEAN 諸国では、中国がかつてそうであったように、急激な外貨投資に伴い、経済発展と労働者賃金上昇が加速する。賃金が上昇する一方、それに見合う現地技術者や現地労働者、特に現地従業員を管理するマネジメント層が圧倒的に不足し、現地に進出している日本企業は、常に人材リスクを抱えることになる。ジェトロによる日系企業活動実態調査によれば、“従業員の質”や“現地人材の能力・意識”を経営の問題点として考える企業が毎年増えていることから、それが窺える。

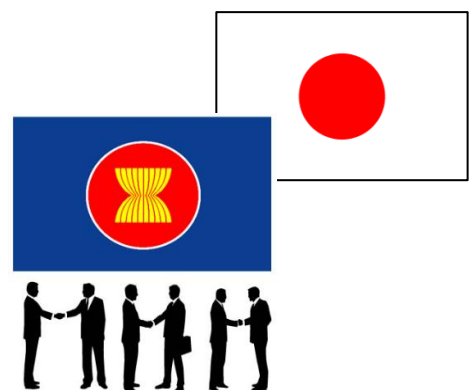
ASEAN 新興国での現地進出企業による人材育成は、日本への派遣研修や企業内研修、OJT や時間外研修による自社研修が主であり、人材教育を公的機関や大学機関と共に進めるという視点は少ないのが実情であろう。今後は、ASEAN のみならず海外へ進出する日系企業においては、低賃金を求めて世界各地へ生産拠点を移すといった安易な考えでは限界があり、賃金に見合った技術やノウハウを持ち、食産業に精通する人材育成が喫緊の課題であるといえる。

日・ASEAN 友好協力 40 周年を記念し、農林水産省が実施する日・ASEAN 食産業人材育成官民共同プロジェクトは、これを解決する手段の一つとして、ASEAN 諸国の大学と連携し、そこで実践的な職業・文化・産業教育を行うことで、既進出及び進出希望日系企業へ質の高い人材供給が可能ではないかとの考えに基づくものである。

当協会は、本プロジェクトが ASEAN 諸国の食産業人材育成に関わる政府・企業関係者、同地域のビジネス展開に関心のある日系企業関係者に資することを願い、また、食産業の海外展開（Made By Japan）推進に向けた重要市場である ASEAN 諸国における農業系大学と連携した食産業人材育成策について、民間企業の立場からの協力を提案する。



主催 (一社)ASEAN 食産業人材育成協会



¹ 食産業とは、農林水産物の生産から製造・加工、流通、消費に係る幅広い産業を指し、花き、種苗、農業関連資材、農業機械・食品機械など関連する産業も含む

2. = 日・ASEAN 政府間での経緯 =

ASEAN 諸国では、2015 年の経済統合を控え、従来型 ODA による支援よりも民間投資と組み合わせた支援のニーズが増加している。かかる背景の下、本プロジェクトは、政府主導での官民連携による日・ASEAN 協力事業として実施されるものである。

これまでの日・ASEAN 政府間の各種対話において、本プロジェクトは取り上げられている。2013 年 12 月に東京で開催された日・ASEAN 友好協力 40 周年記念特別サミットでは、「日・ASEAN 友好協力に関するビジョン・ステートメント実施計画」が採択され、本プロジェクトの内容が盛り込まれた。

日・ASEAN 友好協力に関するビジョン・ステートメント実施計画（仮訳）【抜粋】

東南アジア諸国連合（ASEAN）加盟国及び日本の首脳は、「つながる想い、つながる未来」のテーマの下で、日・ASEAN 友好協力関係 40 周年を記念して 2013 年 12 月 14 日に東京に集まり、日・ASEAN 友好協力に関するビジョン・ステートメント及びその実施計画を採択した。

2. 繁栄のためのパートナー

包括的経済連携と地域の繁栄のための協力を更に促進するめに、日本と ASEAN は、

2.26 生産から消費に至るフードバリューチェーンに関する官民連携の協力を促進する。

また、2014 年 1 月には吉川農林水産副大臣を始め、ASEAN 事務局次長、ASEAN 各国政府・大学関係者の出席のもと、本プロジェクトのキックオフイベントとして人材育成シンポジウムがジャカルタで開催された。ASEAN 事務局からプロジェクトに対する謝意が示されたほか、ASEAN 各国出席者からはプロジェクト実施に向けて強い期待感が示され、今後 ASEAN 各国政府に対して、新たな協力スキーム“ASEAN 諸国の大学と連携した人材育成”の円滑な実施に向けて国内調整の促進を奨励すること等を内容とする提言が採択されている。

提言（仮訳）

日 ASEAN40 周年記念 ASEAN 諸国の大学と連携した食料分野における人材育成に関するシンポジウム

2014 年 1 月 21 日にジャカルタで開催された ASEAN 地域の大学と連携した食料分野の人材育成に関するシンポジウムの参加者は、ASEAN 地域における食料分野の人材育成に関する意見交換を行い、以下の共通認識に至った。

2013 年 12 月の日 ASEAN 特別首脳会議における、農業、食料安全保障におけるパートナーシップ強化を通じて、人材育成を促進し、社会問題及び環境問題を克服するとして「日・ASEAN 友好協力に関するビジョン・ステートメント」を想起し、

ここに、以下の通り提言し、我々の政府に対し実行するよう奨励する。

1. 生産、加工・流通から食品サービス業に至るフードバリューチェーン及び食品安全に関する官民連携の協力を促進すること
2. 新たな協力スキーム“ASEAN 諸国の大学と連携した人材育成”の成功は地域の生産から消費に至るフードバリューチェーンの強化、とりわけ ASEAN と日本の関連産業の成長に有効であることを認識し、その円滑な実施に向けて国内調整を促進すること
3. 能力開発、経験及びグッドプラクティスの共有、研究・開発、技術移転、人材育成等のメカニズムを通じ、農林水産業、食料安全保障及び食品品質・安全の分野における協力を強化すること

参加者は、本シンポジウムの結果を SOM-AMAF+3 及び AMAF+3 に対し提出することで合意した。



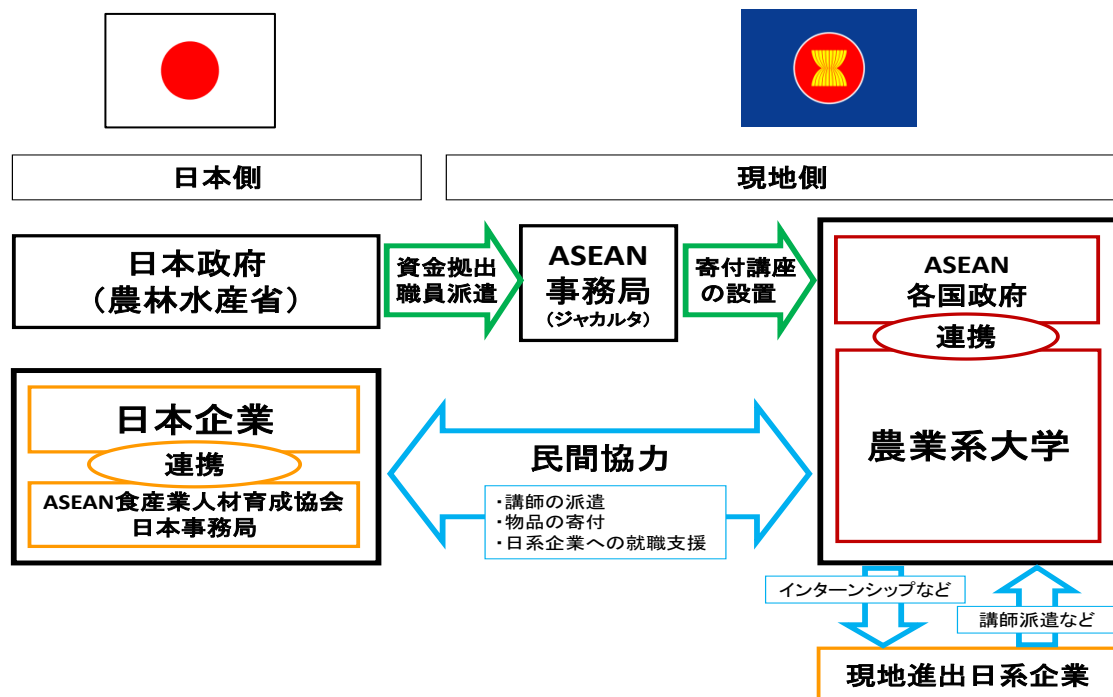
“ASEAN 諸国の大学と連携した食料分野における人材育成に関するシンポジウム”
(2014 年 1 月 21 日 インドネシア・ジャカルタ)



ミン ASEAN 事務総長との会談においてもプロジェクトへの支持が示されました。
(2014 年 1 月 22 日 インドネシア・ジャカルタ)

3. 日・ASEAN 食産業人材育成官民共同プロジェクト概要

《概要イメージ》

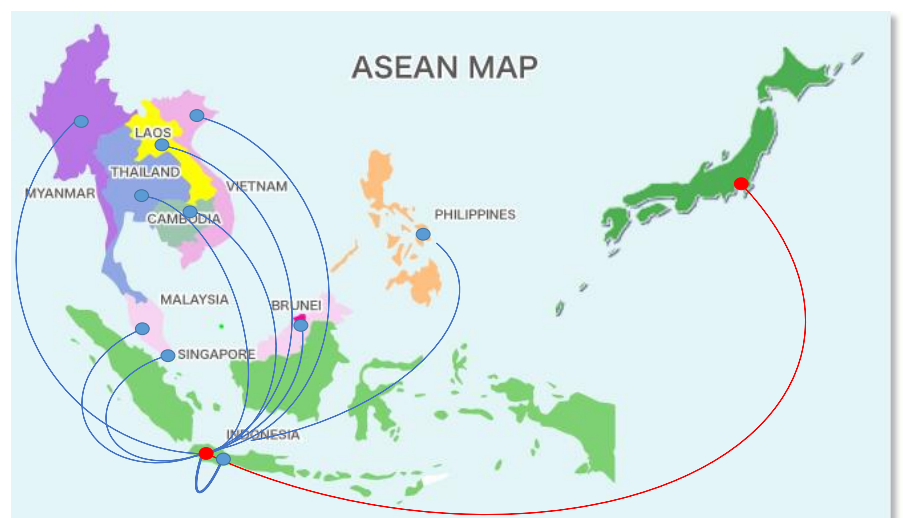


《各国の連携大学》

ブルネイダルサラーム大学 —BRUNEI DARUSSALAM 所在地：ブルネイ 1985 年創立、学生数 2,800 人	王立カンボジア農業大学 —CAMBODIA 所在地：プノンペン 1964 年創立、学生数 10,000 人	ボゴール農科大学 —INDONESIA 所在地：ボゴール 1963 年創立、学生数 25,000 人
ラオス国立大学 —LAOS 所在地：ビエンチャン 1996 年創立、学生数 26,000 人	マレーシアプトラ大学 —MALAYSIA 所在地：クアラルンプール 1931 年創立、学生数 27,100 人	イエジン農業大学 —MYANMAR 所在地：ネピドー 1924 年創立、学生数 1,500 人
ビサヤス州立大学 —PHILLIPINES 所在地：ビサヤス 1924 年創立、学生数 25,000 人	シンガポール国立大学 —SINGAPORE 所在地：シンガポール 1905 年創立、学生数 31,000 人	カセサート大学 —THAILAND 所在地：バンコク 1943 年創立、学生数 58,000 人
ベトナム国立農業大学 農業農村開発管理大学 —VIETNAM 所在地：ハノイ N/A 年創立、学生数 N/A		

□ …初年度実施大学

* 上記大学は現時点の予定であり、
今後、各国政府との調整により
変更の可能性があります。



4. プロジェクト内容

寄付講座の設置

ASEAN 各国の大学において、学生や一般参加者を対象に、フードバリューチェーンに関する講義やセミナーを実施します。協賛企業（主として現地法人）から講師を派遣していただき、講師の方々には各大学から称号（客員講師等）が付与される仕組みとする予定です。

尚、カリキュラムはフードバリューチェーンを軸とする予定ですが、各大学や協賛企業の興味関心に応じて、講義内容や重点を置く科目を調整します。

《タイ・カセサート大学カリキュラムの例》

テーマ：フードバリューチェーン集中講座（各日 180 分の講義を 2 週間にわたり実施）

開催日	トピック	講義内容	担当企業
1月26日	イントロ	・フードバリューチェーンについて	ASEAN事務局
		・日本の食産業について	(株)パソナ
		・日本企業文化と人材育成	(株)パソナ・農援隊
		・日本農業とフードバリューチェーン	
1月27日	種苗	・日本における野菜生産の歴史及び現状と課題について ・日本の種苗産業の紹介及びそのASEAN地域への貢献について	(一社)日本種苗協会
1月28日	食品加工 1	・油脂の加工とパーム油の加工・用途	不二製油(株)
1月29日	食品加工 2	・日本の清涼飲料市場～バリューチェーンと商品開発	キリンホールディングス(株)
		・乳製品の製品加工技術、商品開発のプロセス、乳中の機能性成分とその機能	雪印メグミルク(株)
1月30日	食品流通	・乳製品の容器包装技術	雪印メグミルク(株)
		・コールドチェーン 産業用冷凍機の最新技術	(株)前川製作所
		・食材保存の最新技術	
2月2日	マーケティング	・アセアンでのPB開発について ・アセアン各国の事業戦略	イオン(株)
2月3日	マーケティング	・フードバリューチェーンにおける食品製造会社の役割 ・食品製造会社におけるバリューチェーン、マーケティング ・事例紹介/新商品開発	アサヒグループホールディングス(株)
	外食産業	・フードサービスチェーンの持続的成長と課題	(株)ぐるなび
		・起業からチェーン化へ至るための商品開発、人材育成、出店戦略等	
2月4日	食生活への貢献	・タイ味の素社、食卓への貢献：うま味を基に、食品から飲料まで	味の素(株)
		・冷凍食品の基礎知識	(株)ニチレイフーズ
2月5日	食文化	・食の本質と米文化の特色 ・日本の食文化の歴史と特色	(株)ぐるなび
2月6日	環境対策	・キリングループの環境の取り組み～資源循環100%社会を目指して～	キリンホールディングス(株)

開講式の開催

講義実施に先立ち、現地政府や協賛企業を御招待して開講式を開催します。

来賓による記念講演も実施予定です。

5. 協賛メリット

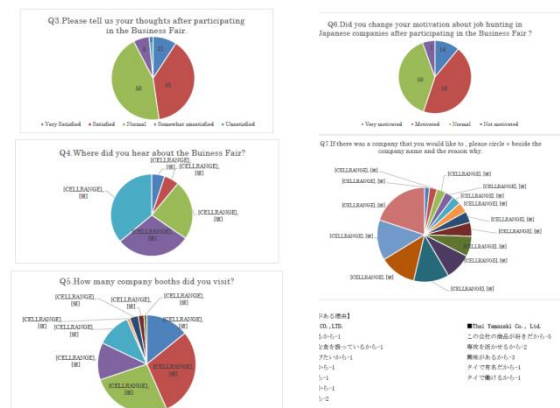
今後益々ビジネス展開の加速する ASEAN 諸国において、10 カ国トップクラスの農業系大学学生を対象にした①マーケティング(アンケート調査)、メディアを通じた貴社の②PR 活動、また質の高い③人材支援をサポート致します。

① マーケティング(アンケート調査・共同研究)

ASEAN 現地学生を対象にした「生の声」をアンケート調査

ASEAN10 カ国のトップクラスの農業系専攻の優秀な現地学生を対象に、現地で「生の声」をヒアリングし、進出企業の抱える課題を、優秀な現地学生に対し共同研究や現地調査にて解決致します。

質問事項や調査項目は事前に協賛企業様へヒアリングをし結果はレポートとしてご提供致します。



② PR 活動

PR ツール 1

メディアによる(一社)ASEAN 食産業人材育成協会の告知

新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、WEBなどメディアを通し「(一社)ASEAN 食産業人材育成協会」の開催告知や活動報告を図ります。(※協賛企業のロゴマークを掲載します。)

下記、日本食糧新聞紙面にて「(一社)ASEAN 食産業人材育成協会特集企画」を掲載。

媒体仕様	隔日刊発行・ブランケット版・94,500 部
広告スペース	全 7 段

※下記の企業ロゴマークは、イメージとして使用しています。実際の協賛会社とは異なる場合があります。

公式 Web Site

トップページの協賛企業用フレーム内にバナーを設置。表示順は随時更新します。

「(一社) ASEAN 食産業人材育成協会」の公式 HP は、農林水産省の HP からリンクされます。

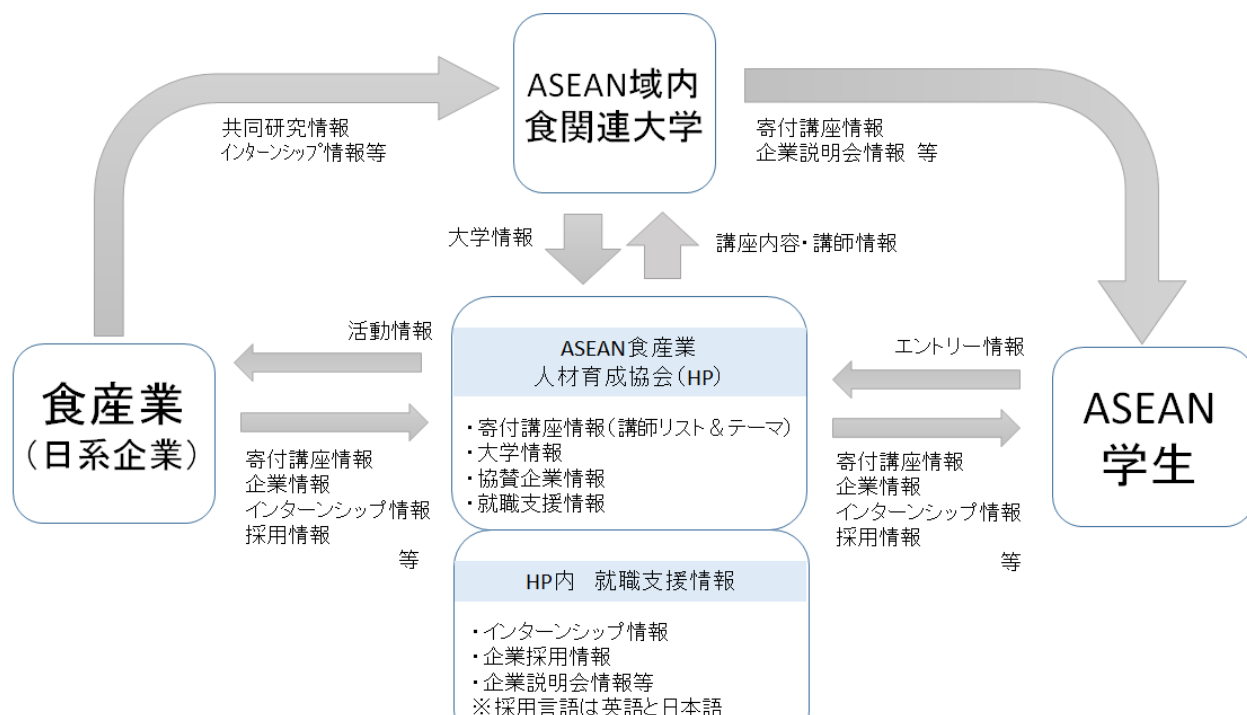
※2016 年度リニューアル予定



媒体仕様	バナー
バナーサイズ	248 × 33px

【イメージ図】

日・ASEAN 食産業人材育成官民共同プロジェクト HP を起点とした各種情報フォローチャート



関連イベントにおける広告スペースでのロゴ掲載

日・ASEAN 食産業人材育成官民共同プロジェクトに関連するイベント、例えば、オープニングセミナー、開講式などの会場に設置する広告スペースにて協賛企業のロゴマークを提示します。

媒体仕様	バックドロップ
広告スペース	縦x3000mm 横x5000mm

媒体仕様	ロールアップ
広告スペース	縦x2000mm 横x800mm



※上記企業ロゴマークは、イメージとして使用しています。実際の協賛会社とは異なる場合があります。

関連イベントにおける商品・サービスの PR 展示ブース設置

日・ASEAN 食産業人材育成官民共同プロジェクトに関連するイベント、例えば、商品 PR、サンプリングなどの会場に、貴社の商品・サービスの展示場所を無償にて提供します。またイベントブースでのアンケート調査等も可能です。



ブースイメージ



③ 人材支援

採用活動支援 1

企業説明会での協賛企業ブース設置

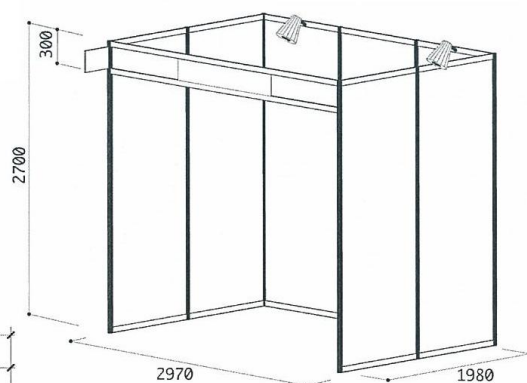
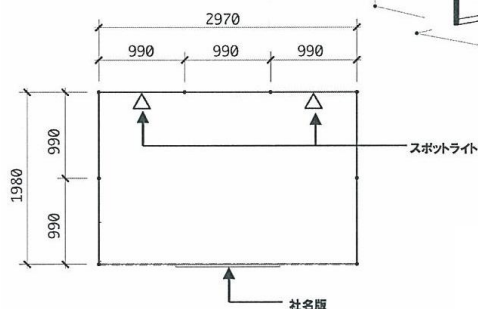
日・ASEAN 食産業人材育成官民共同プロジェクトに関連するイベント、例えば、合同企業説明会、インターンシップ説明会などの会場に設置する協賛企業ブースを無償にて提供いたします。尚、ブース位置につきましては、イベント毎に調整いたします。



ブースイメージ

サイズ:間口2, 970mm
×
奥行き1, 980mm
×
高さ2, 700mm

平面イメージ



立面イメージ

採用活動支援 2

個別企業説明会・面談会の開催

寄付講座の実施に伴い、貴社の求める ASEAN 進出国で将来のグローバルリーダーや幹部候補になる優秀な人材を対象にした個別企業説明会、面談会の開催をサポート致します。

個別企業説明会の様子



個別面談会の様子



④ その他

プロジェクト実施大学への寄贈物品

日・ASEAN 食産業人材育成官民共同プロジェクトを実施する大学に対する寄贈物品に企業ロゴマークを掲載します。

仕様媒体	シール
広告スペース	縦×40mm横×150mm

* 右記の企業ロゴマークは、イメージとして使用しています。

実際の協賛会社とは異なる場合があります。



6. 協賛のお願い

《年会費》

- 本協賛（ASEAN 全域） 3,000,000 円
- 準協賛（ASEAN 国別 1 カ国） 1,000,000 円

※お預かりした協賛金は、協賛企業 P R ツール作成費用、寄付講座運営費用、日本事務局運営費用等に充当させていただきます。

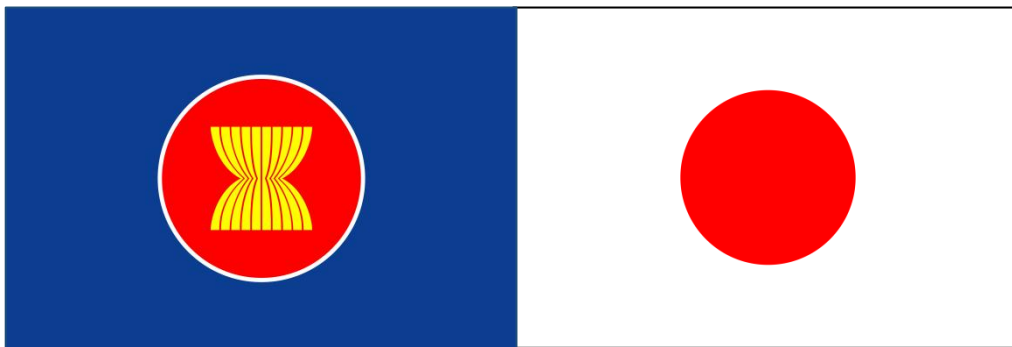
【協賛メリット詳細】

カテゴリー	No.	ページ	内容
プロジェクト全体	1	---	関連イベント(シンポジウム、セミナー、開講式、ジョブフェア等)への優先参加権
①マーケティング	1	P6	現地アンケート調査レポートの提供
②PR 活動	1	P6	メディアによる告知
	2	P7	公式 WEB サイトへの企業情報・ロゴ掲載
	3	P8	関連イベントにおけるロゴ掲載
	4	P8	関連イベントにおける商品・サービス PR、出展ブースの設置
	5	---	寄付講座実施大学学生の見学・視察体験の受け入れ斡旋
③人材支援	1	P9	ジョブフェアでの企業ブースの設置
	2	P9	個別企業説明会・面談会の開催サポート
	3	---	寄付講座実施大学学生の就業体験・インターンシップの斡旋
④その他	1	P10	実施大学への寄贈物品の贈呈
	2	---	寄付講座実施大学での講師機会の斡旋、また客員講師等の称号付与斡旋
	3	---	寄付講座実施大学との共同研究機会等の斡旋

※本協賛の場合、日本国内と ASEAN 全域で上記協賛メリットを実施いたします。

※準協賛の場合、日本国内と ASEAN 各国からお選びいただいた 1 カ国で、上記協賛メリット実施いたします。

※本協賛・準協賛会員のみでは寄附講座をカバーしきれない場合、当協会から講師の派遣のみの御協力をお願いすることがございます。その場合におきましては、本事業に公的資金が投入されておりますことにも鑑み、講義やプレゼンの中での自社製品の必要以上の P R 等は御遠慮ください。



お問い合わせ

一般社団法人 ASEAN 食産業人材育成協会 事務局

〒105-0003 東京都港区西新橋2-21-2 第1南桜ビル（日本食糧新聞社内）

担当：阿久津 / 内田

TEL 03-3432-4664

E-mail: admin_info@aj-fhrd.net

HP : <http://www.afh-jp.com>